

# 遺伝子治療の 課題とその対策

## 小野寺 雅史



大阪大学大学院工学研究科・特任教授

モデレーター

岡崎 利彦

大阪大学医学部附属病院  
未来医療開発部 未来医療センター

現在、AAVをはじめとするウイルスベクターを用いた遺伝子治療は、難治性疾患に対して有効な治療法として広く認識され、国内外で複数の遺伝子治療用製品が医薬品として承認されている。一方、ベクター開発の技術的困難さや高い製造コストなどを背景に、多くの製薬企業が近年この分野から撤退し、遺伝子治療を真に必要とする患者の治療アクセスを著しく制限する状況が生じている。こうした課題に対し、欧米では製造法のプラットフォーム化や保険制度の改革など、持続可能な遺伝子治療の提供体制を構築するための取り組みが進められており、我が国においても、遺伝子治療の普及・促進を目的とした新たな制度的対応が検討されている。本発表では、私たちが現在直面している遺伝子治療に関する主要な課題を整理し、日本において持続的に遺伝子治療を実施していくために何が必要かを考察したい。

### オンライン開催（事前登録制）

■参加申込：下記のURLもしくは右の二次元コードからお申込ください。

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_hltgAmw7R9Wl0u-mT7aulQ](https://zoom.us/webinar/register/WN_hltgAmw7R9Wl0u-mT7aulQ)



■参加費：無料（但し、一般社団法人ACTjapan 会員でない企業様：お一人様 ￥1,000/回）

※ アカデミア所属の方、学生およびACTjapan 会員企業様は無料でご参加いただけます。  
参加費のお支払いは、銀行振り込みとなります。  
ご登録いただいたアドレスにメールにてご案内申し上げます。

★本フォーラムは、医学系研究科研究セミナーの対象です

お問い合わせ：大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 未来医療センター内 ACTjapan事務局  
[actjapan@dmf.med.osaka-u.ac.jp](mailto:actjapan@dmf.med.osaka-u.ac.jp)

共催：日本橋渡し研究アライアンス／一般社団法人ACTjapan／大阪大学橋渡し拠点



## 研究セミナー向けご案内

本セミナーは大阪大学大学院医学系研究科博士課程の特別セミナーを兼ねておりますので、大阪大学大学院医学系研究科博士課程に所属する大学院生の皆様に周知致します。

以下①②③をすべて満たした際に押印を致します。

1. 事前申し込みを行ってください。
2. 当日、セミナーにWEBで参加してください。
3. 所定の様式にレポート事項を記載し事務局（[actjapan@dm.med.osaka-u.ac.jp](mailto:actjapan@dm.med.osaka-u.ac.jp)）宛にメールにて送付してください。  
事務局で押印後PDF にて返信致します。



- ・押印原本は年度末（2026/3/31）まで保管致しますので必要な場合は御一報のうえ引き取りにお越しく下さい。（吹田キャンパスCoMIT棟 4階401）

### お問合せ

大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部  
未来医療センター ACTjapan事務局 上田  
[actjapan@dm.med.osaka-u.ac.jp](mailto:actjapan@dm.med.osaka-u.ac.jp)

<http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp/hashiwatashi/act.html>

